

# 観光施設メディアラボ

公益社団法人国際観光施設協会編



住友林業(株) 住宅事業本部 木化営業部 副部長  
杉本 貴一氏

## はじめに

わが国における木造建築の実現は、法令との戦いです。われわれ作り手は木の良さを求めるエンドユーザーに応えたいのですが、法規制のために実現不可能とあきらめているのが現状です。しかし、法との戦いに挑み勝ち残った少数の「サムライ」たちのおかげで、今、なんとか木造化は実現されています。

国も法令の緩和という方法で「サム

ライ」たちを応援しています。

2000年の建築基準法改正に伴い、木造でも耐火建築物が実現可能となりました。

2010年には、公共建築物等木材利用促進法が制定され、低層の公共建築への木材利用が推進されました。

さらに、2015年には準耐火構造の適用範囲が見直され、学校などの特殊木造建築物において3階までが1時間準耐火構造で実現可能となりました。木造での大規模・高層建築がごく近年戦いではなくなりつつあるのです。

## 安全・安心で快適な木のおもてなし

技術開発と法改定が進み、安全・安心な木造建築は進歩してきていますが、はたしてエンドユーザーが求めている本来の快適な木造建築が実現できているかどうかは疑問です。防耐火基準の厳しくない郊外では、下の写真のような比較的小規模の低層建築物において、快適な空間を作り出すことが可能であり高い評価を得ています。

これと同じような空間を都市部で再現しようとする、防耐火の規制で快

適性を我慢していただくを得ないのが実情です。快適性を我慢していただく木造建築では、本来の「木のおもてなし」ができておらず、林業に携わる企業の一員である私としては非常に悲しいことです。

法改正や緩和措置は、本来、木が持っている効能をエンドユーザーに体感してもらうために行なうべきです。それを後回しにして規模や高さというハード面の可能性拡大を優先しても、エンドユーザーからはRC造やS造との優位性を評価されず、結果、木造のニーズには至りません。林業に携わる企業の立場では、五感で感じる耐火木造を実現し、まず快適であること、そして安全・安心であるという総合的な付加価値をエンドユーザーから評価いただくなくてはなりません。そして、その付加価値に見合う価格で利用拡大されなければ、山側に利益が還元されず、また、本来の日本の林業課題が解決されたことにはならず、森林大国の再生や復活にはなりません。

今一度、本来の木の良さが、作り手からも使い手からも再認識されることが望まれます。



「タリーズコーヒー伊丹店」

# 第21回 ホテルの安全・安心12 木質材へのこだわりと不燃化

公益社団法人 国際観光施設協会 技術委員会 ホテル都市分科会  
住友林業株式会社 住宅事業本部 木化営業部 副部長

杉本 貴一

## 具体的事案

### ■ 耐火建築での構造あらし (野菜倶楽部 oto no ha Café)

国産スギ材のみを利用した純木耐火集成材「FR ウッド」(\*)を利用して、1時間耐火木造建築物の梁・柱の木構造あらしを実現。

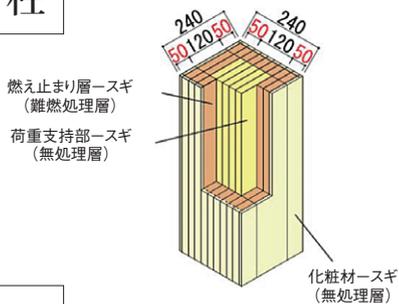
※「FR ウッド」は東京農工大学、森林総合研究所、ティー・イー・コンサルティング、鹿島建設が共同で開発。



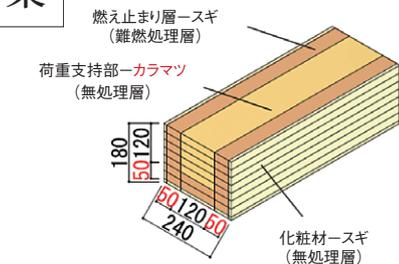
2016年9月には、「FR ウッド」の部材仕様を合理化し、新規大臣認定を4社(鹿島建設、住友林業、ティー・イー・コンサルティング、三井住商建材)で取得し、コストダウンを実現。

### 【新認定の純木質耐火集成材】

#### 柱



#### 梁

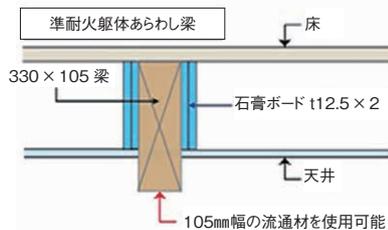


### ■ 準耐火建築での構造あらし (チャーム四條畷)

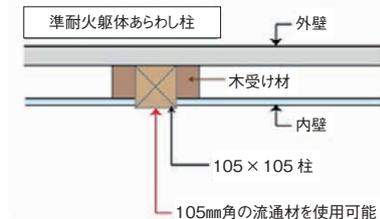
従来の燃えしろ設計ではなく、一般流通材(105mm幅)を利用して、最終的には隠れる天井や壁の内部に耐火被覆や金物補強をする方法で、当社が大臣認定を取得し、準耐火構造45分の躯体あらしを実現。



### 【あらし梁】



### 【あらし柱】



### ■ 不燃の仕上材 (グランダ多摩川・大田)

外装: 不燃木製外壁材(国産杉)  
メンテナンス性で敬遠されがちな外装木製部材に、ノンネイル・ノン接着工法で、容易に着脱可能なイージーメンテナンスを実現。



内装: 不燃天然木極薄連続突板シート(国産タモ材)

不燃材の認定を取得している国産天然木の突板連続シートを内装材として採用し、ご老人方に肌触りと香りが好評。



### さいごに

ぜひ、五感に感じる宿泊施設を木造で実現することで、いつもより荷価値の高い対価をお客さまからいただけることを期待いたします。